



湯本四倉間の舗装

愈々本格調査開始

来十日内務省の小澤技師出張
縣の阿部道路技師と共に

平町を中心に湯本、四倉間二
十キロ(五里)の国道舗装は沿
線部民は勿論地方を挙げて希
望するところである。昨年来熱心
なる運動の結果漸く主務省に
も交通の繁盛と其の必要を認
められて数回に亘り當局の調
査を経てあるが愈々地方部民
の望みが透せられるものゝ如
く豫て傳へられた今年夏季
の再調査に来る十日内務省か

平の 地下 再調査に決す

委員と調査地明日決定

昨報平町地下採掘問題の仙鏡
局調査官提示に係る町會議員
の協議は五日午後一時から
の附議に於て絶對多數の採掘
反對側が前記調査官に示され
た三案の何れに決すると否と
に拘はらず尙慎重なる調査
研究をなすべく回答を本月末
まで延期したい意見に對し少
數反對派の野崎氏は一、二兩
模様である

星磐城薬業組合の 設立準備委員会

顧問には東都知名の士

磐城地方に於ける星製薬販賣
業者に於て豫て計畫されて
備委員会は今六日午前十時か

日恒(昭和)五日
刊一十月二五第
頁十五第(二第
版)第一頁(四十
頁)指定 印刷
發行所 平谷政
新刊 平町六町三
番のち新刊社

ブランタンとは春のこ
らかな時、長閑な春、
晴々しい春、浮き立つ
春、唄ひ踊る春は全く
陽気である、カフエー
ブランタンなど云ふの
は其の意味の名だらう

夏の迎客準備

貸間自動車料金等協定

海の宣傳に努むる勿來

さきにハイキングコースを設
定史上有名な勿來園趾を宣
傳中の勿來町では九面海岸一
帯に亘る海水浴場を併せて宣
傳迎客準備の座談會を四日午
後七時から同町開田小学校で
開いた赤津町長、赤津青年團
長以下消防幹部、自動車業者
驛長その他二十餘名出席協議
の結果まづ迎客をモットーと
して海水浴客誘致の宣傳に努
めさらに町では同海岸に有料
無料の脱衣場を設置入浴場の
設備海岸一帯に點燈して夜間

一杯喰つた平署

電話で告げて逃げる

人騒がせな男檢舉

昨五日午後九時頃平町六丁目
温泉旅館熱心湯侍で方に現
はれた労働者風貌の男が金を
くれと恐喝暴行してあるとの
届出により平署から渡部温部
長以下急行したが犯人は逃早
くも逃走したので引續き捜査
中同夜午後十一時頃喧ましい
電話で「本館ですが今五、六
真赤な嘘で(嘘よ)から三十

五、六才位の労働者風の男が
引致取調ると右は下小川村字
榮原栗田居住新藤師鈴木清光
(三三)と判明熱心の恐喝も此
に手配南町の魔窟を暴見中の
男が極似してゐるので本署に

インキ祈禱師

お不動様を看板にして 病人から悪どく絞る

青年無断家出

小名濱町字横町祈禱師安田豊
太郎(五)は昨年來不動尊祈禱
所の看板を掲げて萬病不動様
のお命じになつた薬で治療し
てやると稱し昨年十一月中旬
町字中島佐藤勝太郎(四)から
祈禱料五圓と樂代十日目毎に
六圓つゝ捲き上げた外インキ
キ祈禱の内幕がばれて六日平
署に検査されたが被害者多い
見込で引續き取調中

大量吐血 洗濯中に 女房即倒

賦課額決定の 本會議

平町大町三七居住平運輪會社
人夫頭村田幸吉の妻ツギ(五)
は今日午前八時半頃自宅裏
手で洗濯中突如大量の吐血し
て即倒人事不省に陥つたので
直に附近木村病院に昇り込み
應急手當中だが生命危篤劇薬
自殺を企てたのではないかと
大騒ぎ演じたが平署から渡邊
司法主任検視の結果同人は肺
結核患者で無理な洗濯で浴血
したものと判明した

痴話喧嘩の末 情婦を斬る

錦村昭和人絹工場請負佐々木
組下の高部甚太郎(三)は去
三日夜戀仲の植田町みどり抱
て痴話喧嘩の末出刃庖丁を揮
つて勝太郎の左腕に斬つて負
傷せしめた事發覺四日植田署
に檢舉された

地下採掘問題 一町民 題に就きて

筑紫原田に於ける數へ切れ
ぬ程の被害をならべ立てなく
ても、隣村内郷村に於ける被
害殊に傾城トンネルが頭の天
邊に大手術を施された慘狀を
見せつけられて居り乍ら、専
問家が二尺以上なら被害が
なかり相対的の話を信じて、
磯山監督局が平町の地下採掘
を許可せんとする態度を示す
のは、不親切極まる悪政と云

紙に報じたが役員改選の結果
は左記の諸氏を決し尙ほ顧問
として五氏を推した

婦人報告運動の 講演會

十二日磐城女講堂で

本縣愛婦支部並に平町同分會
及び平町女子青年團主催の婦
人報國運動講演會は来る十二
日午前十時から磐城高女講堂
に於て開催されるが講師は本
部から評議員男爵夫人永山琴
子氏及び杉本春喜の両氏の時
の非常時であるかと否とを問
はず國運の伸張には志操の鞏
固を愛國心に燃ゆる婦人の内
助と其の結束力に頼るものが
大であつて婦人の力こそ國家
興隆の原動力であるとの力説
強調がある由

松本書記榮轉

架換入札

平町土木監督所では明日八日午
前中に於て平、三坂線の築輪
村地内峠半橋(鐵筋コンクリ
ート)架換入札を執行の
筈であるが同橋は延長中員何
れも五米のものであると

本會議

明七日午後一時
平町では十年度の特別戸數割
賦課に關し町議全委員で審議
中であるが賦課額三十圓以上
に對する分も今六日一杯を以
て審議を終るので明七日午後
一時本會議を招集すると

經國聯盟磐城支 部の顧問と役員

經國聯盟磐城支部の總會は昨
日七日起任地に向つて出發した
立警城中學校書記松本忠人
氏は相馬中學校書記に榮轉今
七日赴任地に向つて出發した

庭業方

ベト病 (下)

その豫防法と藥劑
それから日中と日没で濃度を變へねばならないことも無論である、日没三斗式を用ひるとしたら日のカン／＼照つてゐるところでは五斗式ぐらゐにすることがよい、さてベト病が日光の當らない梅雨期葉の弱つてゐるところへつけ込んで暴威をふるえ過程は判つてゐるけれどもベト病そのものの性質はまだ明らかになれてゐない、ポルドー液の効くのはその中に含まれてゐる硫酸銅が葉の組織を硬く丈夫にするからであつて決してベト病そのものに用するのではない、

降雨後に施すのはよいとして雨は豫知出来ないから降雨前にと云ふのは少々無理な話ではあるが、
効き目から云へば絶大である、ポルドー液の散布は再三行つて回数が多いほどよろしい、瓜の類はポルドー液がかゝると表面に醜い斑點が出来、賣り物にならないと云はれないまでも非常に商品價値を落すだから實がなり出したらポルドー液の代りに銅石鹼液を用ひることにする、銅石鹼は硫酸銅六乃至八匁、石鹼二十匁を水一斗に溶いてつくるのである、ポルドー液をこしらへるにつけて高いのは硫酸銅であるがそれも一貫目一圓位ですむ筈である、ベト病を放任して置いたがために收穫皆無となつた例が珍らしくない、ベト病の被害の恐るべきものであることが判つたなら此の豫防法を必ずやることである、間違はずにやりまへすれば効果百パーである(完)

牛も豚も優良品の自慢

肉の御 三三三 平町 田町
用命は 三三三 三三三

正確な体温計
寒暖計
計量器指定販賣
山野邊藥局
平町五丁目角

近代趣味
パラソル豊富陳列
ツルヤ
電話一四〇

産科 婦人科 長木村寅次郎
外科 醫學博士 内木宗八
藥局 藥劑師 立齋彌一
平町新川町九一
入院隨意 木村病院
病室完備 電話一六四番

拾日掛掛迎
萬年筆
計時
高橋時計店
目丁二町平
電話一六八番

診療科目
一、齒科 一般
一、口腔外科
一、レントゲン科
中野齒科醫院
院長 日本齒科 中野憲次
醫學士 西川誠
平町田町(松月堂向ひ) 電話五〇九番

内科 小兒科
外科 花柳病科
耳鼻咽喉科
レントゲン科
高久病院
平町田町 電話五二三番
院長 醫學士 高久忠

農村の更生振興に
天然加里肥
最も適應する作物!
製造販賣 金成國雅
平町鎌田 電話六八八番

(磐城共濟病院) 福島縣平町電六四一
内科 院長 醫學博士 石山謙助
小兒科 部長 醫學士 藤尚輔
産婦人科 部長 醫學士 五十嵐雄二
外科 部長 醫學士 大町久藏
皮膚泌尿科 部長 醫學士 山澤正
器病科 部長 醫學士 前山謙
藥劑科 部長 醫學士 石山謙
事務局長 藥劑師 鈴木本孝
平町 電話二七二番

★當りが多くて評判の
パチンコはアツマ
アツマ遊技場
平町 電話三五二

マグネトロン
百萬の富より健康
此新療法で病弱を御試しなさい
治療所 日中は 城山藥園(電話一〇九)
日没後は 一丁目自宅(電話四七〇)
醫師 飯田近治

高橋時計店
電話一六八番

石炭
コークス
豆炭
水野石炭店
平町郵便局通り
電話二九九番

平町 電話三五二
レストラン サロン
平町大町若松醫院隣